

第17回

学生が
選んだ

「もっと学びたい」、「もっと学んでほしい」
—そんな学生と教員の思いを近づけるために

「ベストティーチャー」発表！

2022年度の「学生による授業評価アンケート」の結果から、各学科で総合的評価がもっとも高い先生を選びました。

選ばれた先生方の声をお届けいたします。



Susan Jones 先生

● 英文学科

学生たちがバランスのとれたユニークな翻訳を生み出す手助けをすることが、私の目標であり、喜びです。

* 担当科目: Translation Theory and Technique など



傅 喆 先生

● 総合文化学科

身近な環境問題、地域の経済問題をcoolに学び、warm heartで地域社会に寄り添うpracticeも必要であることを、共に学びましょう。

* 担当科目: 経済学、現代社会と経済学、比較経済論 など



八木澤 教司 先生

● 音楽学科

「音楽が大好き」であることをきっかけに出会えた学生たちと、本学ならではの素晴らしい環境で今年度も研究を続けます！

* 担当科目: 和声学、合唱・吹奏楽研究、ウインド・オーケストラ など



若佐 美奈子 先生

● 心理・行動科学科

「なぜこの哀しみは消えないの」「寄り添うってどういうこと？」誰かをケアする時、私たちが大切にしたい問い、一緒に考えていきましょう。

* 担当科目: 心理実習、臨床心理基礎実習 など



高岡 素子 先生

● 環境・バイオサイエンス学科

私たちのまわりにある「なんかすごいもの」、「ワクワクするもの」、「なんか話題になっているもの」に対して、野次馬的な好奇心を持つことがとても重要。それが自主的な学びにつながると思います。

* 担当科目: 食品学、バイオサイエンス基礎実習 など

第 17 回 神戸女学院大学
私の**授**業**風**景
授業**論**
 学 生 が 選 ん だ ベ ス ト テ ィ ー チ ャ ー

2022年度の「学生による授業評価アンケート」の結果から、各学科で総合的評価がもっとも高い先生を選びました。神戸女学院大学では、「もっと学びたい」、「もっと学んでほしい」、学生と教員のそんな思いを近づけることをめざしています。

神戸女学院大学 FDセンター(学長室)

英文学科
Susan Jones 先生



人工知能AIによる翻訳が一般化しつつある今日、学生たちが翻訳に取り組む時、1つの「正解」というものがあると思ってしまうがちです。しかし、そんなものはありません。私は、学生一人ひとりが自分の翻訳のそれぞれの美しさに気づき、またその翻訳を読む人への責任感を感じてほしいと思っています。仲間と自分の作品とも言うべき、翻訳を共有することで、自分の翻訳の独自性を感じつつ、原作者の意図と読者のニーズを踏まえて、最終稿を決めていきます。学生たちがバランスのとれたユニークな翻訳を生み出す手助けをすることが、私の目標であり、喜びです。

総合文化学科
傳 喆 先生



この度ベストティーチャーに選ばれたことを大変光栄に思います。経済学的アプローチから環境ガバナンス・環境政策、自然資源と地域経済の関わり、持続可能な地域社会を読み解くのが私の研究関心です。イギリスの経済学者マーシャルは、経済学を学ぶ上で“Cool head but warm heart”が必要であると説きました。身近な環境問題・環境政策、そして都市や地域の経済問題をcoolに学び、理解し、解決するためにwarm heartで地域社会に寄り添うpracticeも必要であることを、共に学びましょう。

音楽学科
八木澤 教司先生



関東から関西に拠点を移し本学に着任して4年目。出版社と提携した作品開発やCD制作など、作曲家として国内外で活動してきた実践的な内容を取り入れた「ウインドオーケストラ」の授業。熱心な学生たちと共に本学から吹奏楽界に影響力のある発信をしていく喜びを感じています。「和声学」「楽式論」では理論だけにとどまらず、音楽をより深く楽しむ知識を伝えたいです。「音楽が大好き」であることをきっかけに出会えた学生たちと、本学ならではの素晴らしい環境で今年度も研究を続けます！

心理・行動科学科
若佐 美奈子先生



「なぜこの哀しみは消えないの」「本当の意味で寄り添うってどういうこと？」誰かをケアする時、私たちが大切にしたい問いですね。私は、学生の皆さん一人ひとりが自分のこころを使って丁寧に考えることができるよう、身近な体験に立ち止まり、じっくりと深めていく教育を目指しています。丁寧に、じっくり、そしてしなやかに。人と人とを豊かにつなぐ学問を、ともに学んでまいりましょう。

環境・バイオサイエンス学科
高岡 素子先生



たとえ、今十分に理解ができなくても、私たちのまわりにある「なんかすごいもの」、「ワクワクするもの」、「なんか話題になっているもの」に対して、野次馬的な好奇心を持つことがとても重要。それが自主的な学びにつながると 생각합니다。自然科学の世界には好奇心を掻き立てられる素材が満載なので、学ぶことが楽しいという境地に達することができます。